

平成12年度 家庭教育充実事業

4・5歳児をもつ父親・母親の養育態  
度・意識の実態調査に関するまとめ

[ 概 要 版 ]

福岡県立社会教育総合センター

## 調査の目的

子どもに対する保護者の養育態度・意識は、子どもの意欲や自主性・耐性などの健全な発達に大きく関係しているといわれ、保護者が具体的な生活の場面で子どもにどのように関わっているのか、その実態を明らかにしていくことは、今後の家庭教育の在り方を探求していくうえで極めて重要な課題である。

そのため、平成7年度に4・5歳児をもつ保護者を対象に「4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態調査」を実施した。この調査では、親の養育はおおむね健全にすすめられているが、親子関係を中心とした子育ての不安をもっていることが明らかになった。

しかし、めまぐるしい社会変化の中、5年前のこのような親の傾向がいまも継続しているとは言い難い面が見受けられるようになった。

そのため本事業では、前回と同じ質問を基本に「テレビ視聴時間」や「習い事」など新たに10質問を追加し、対象に3歳児の保護者を加えた、「3・4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態」について調査を実施した。

## 調査の方法

### ・調査の対象

本調査は、福岡県下8地区の40幼稚園・保育園（所）の3・4・5歳児をもつ保護者2,640名及び0・1・2歳児をもつ保護者308名を対象に実施した。回収後、記入者が父親・母親以外のものを除いた3・4・5歳児の父親1,159名、母親1,437名、及び0・1・2歳児の父親134名、母親173名を有効回答とした。（回収率：71.1%）

特に、その中で前回調査との比較検討を行う本事業の趣旨から、4・5歳児をもつ父親840名と母親1,022名を分析対象とした。

### ・調査の方法

本調査は質問総数30項目からなる調査票「幼児（3・4・5歳）をもつ保護者の子育てに関するアンケート」と質問総数11項目からなる調査票「乳幼児（0・1・2歳）をもつ保護者の子育てに関するアンケート」によって無記名で行った。

調査票は親の養育態度を①養育行動と②親子の交流とに分け、さらにこれらの背後にある③養育意識の3領域で構成している。

養育行動の領域では、基本的な生活習慣のしつけについて、親子交流の領域では、しつけをするものとしての子どもの認知及び子どもの受容について質問している。

養育意識の領域では、養育が目標に向けた営みであることから、その目標のありようを、また、子どもとの共同の営みであることから、親によるしつけの自己評価や親が直面する課題について問いかけている。

### ・調査の時期

平成12年9月

## 調査結果から

### ～ 養育行動 ～

#### 園に出かける用意をどうしていますか

「言ってさせている」父親が、前回調査では45%であったのが今回は29%であった。「手伝ってさせている」「してやる」は前回と変わらないという結果から、出かける用意に関して父親はあまり関わらなくなったといえる。

#### 基本的挨拶をどのようにしつけていますか

親から「言ってみせる」は、父親・母親とも19%であり、「言ったときにほめてやる」は、父親13%・母親14%と少ない。親はモデルということをもっと自覚し、言えたときの気持ちよさを共感しほめて欲しい。

### ～ 親子の交流 ～

#### どのようにお手伝いをさせていますか

「特に決めてはいないがさせている」と回答したのは、父親75%・母親80%であり、とりわけ母親は男児よりも女児に対して積極的である。

#### 仲のよい友達を知っていますか

「よく知っている」「だいたい知っている」を合計すると、父親59%・母親93%であり、母親は子どもの友達の認知に対して関心が高いようである。

#### ふだん1日にお子さんとふれあう時間の合計はどの位ですか

2時間以下が父親58%・母親18%であり、父・母親ともに前回調査の父親46%・母親11%に比べ増加している。また5時間以上は父親3%・母親29%で前回調査に比べ母親の割合が10%も下がっていた。子どもが親と一緒に過ごす時間は、時代の傾向として確実に短くなっている

#### 子どもの話を聞いてあげていますか

「いつも聞いている」「まあまあ聞いている」を合計すると父親96%・母親98%で「聞いていない」親はほとんどいない。前回調査の父親91%・母親98%と比較して父親の割合が上がり積極的な姿勢が伺える。

#### おんぶや抱っこでスキンシップをしていますか

「よくしている」「まあまあしている」を合計すると、父親86%・母親85%であり、前回調査の父親80%・母親87%と比べて、父親の割合が増加し、スキンシップに対して、積極的な変容を見せていた。しかし「あまりしていない」ほとんどしていない」を合計すると父親14%・母親15%と皆無でないことに危惧を感じる。

### ～ 養育意識 ～

#### 子どもを育てる上で、今、最も気を配っていることは次のうちどれですか

男女児別でみると、「思いやり」は他の項目である「基本的習慣」や「自主性」に比べ、男児より女児の方が父母ともに多い。また父親では「自主性」「忍耐力」について男児の割合が女児より高くなっている。

(選択肢)

- ・友達との関係
- ・基本的生活習慣
- ・自主性
- ・積極性
- ・忍耐力
- ・知的意欲
- ・人や物への思いやり
- ・特にない

### 子どものしつけに自信がありますか

前回調査では、年齢が高くなると自信のある母親は減少していたが、今回は父・母親ともに5歳の方が4歳児よりしつけに自信を持つ親が若干増えている。

### 子どものしつけに甘い方ですか

「大変甘い方だと思う」「まあまあ甘い方だと思う」を合計すると、父親は男児に対して58%、女児に対しては66%、また母親は男児に対して50%、女児に対しては43%と、ともに異性の子どもに対する方が甘くなるという点が特徴的である。

### 子どもが病院の待合室で騒いでいる時、どの程度叱りますか

明らかに迷惑な問題行動に対して、「まあまあ叱る」というあいまいな対応の父親と「あまり叱らない」「全く叱らない」という父親をあわせると30%ちかくなる点が気になる。

### 育児で困ったり不安に感じたことを主にどのように解決していますか

解決方法として、父親は「相談せずに自分で考えて」が44%、母親は「友人や近所の育児経験者」が39%と一番多かった。「夫婦で相談」という割合は父母ともに6%と低い。

### 子育てにおいてイライラして子どもを

#### 叩いたりしたいと思うことがどの程度ありますか

子育てにおいてイライラしたりして、子どもを叩いたりしたいと思うことが「よくある」「ときどきある」を合計すると父親は36%・母親は55%であった。母親の半数以上が子どもを攻撃したくなる感情をもちあわせている。

### 自分一人で子育てをしていると思うことがありますか

「よくある」「まあまあある」と答えた父親は3%、それに対して母親は40%である。4割の母親が孤立感を感じている点は留意すべきである。

## ～ 今後の課題 ～

親は、子どもの話をじっくり聞き、できるだけ誉め、スキンシップなどを重ねることによって、子育ての喜びを自分自身で作り出していくことがなによりも大切である。

きょうだいや他児との比較はつつしみ、命令ではなく悪いときにはしっかりと叱ることが必要である。親の子育て不安や孤立化は、子どもへの虐待につながりやすく、ありのままの自分自身を認め、身近な相談者を見つけ、家庭を開いていくことが求められる。しかし、それが難しい親もおり、ネットワークづくりが急務である。

固定的な性別の役割意識は甘さと関係するものであり、人間として何を育てていくべきかを考え、基本的な生活習慣づけを反復・継続して行っていくことが重要である。子育てサークルなど親が自主的に活動できる場へ参画し、手伝いやあいさつなど人間関係づくりの基礎を、親が自ら態度で示すことが大切である。親は過保護になりがちであることを自覚し、子どもができるだけ自己決定できる態度を長い目で育てていくことが求められる。

最後に、メディアの子どもへの影響には心してかかる必要があり、メディアとのよりよい関係づくりが不可欠である。